

年 月 日

可 児 市 長 様

事業者：住 所  
氏 名  
電 話（ ） -

太陽光発電事業環境影響調査報告書

可児市太陽光発電設備の設置等に関する要綱第6条第2項の規定により、環境影響調査について、事業区域とその周辺の自然及び生活環境への影響の調査及び対策を次のとおり報告します。

①環境影響調査のまとめ

項目	影 響 該 当 項 目		基本的考え方のまとめ
自然環境に関する事項	事業区域	ある（山林・農地・河川・他） なし	
	周辺	ある（山林・農地・河川・他） なし	
生活環境に関する事項	事業区域	排水・騒音・振動・電波障害等・廃棄物	
	周辺	排水・騒音・振動・電波障害等・廃棄物	
景観に関する事項	事業区域	緑化・緑地保全・反射光・色彩	
その他			

※基本的考え方のまとめは、開発事業者としてそれぞれの項目に対する考え方を記載する。

②自然環境に関する事項

該当内容		有無とその種類	対 処 方 法	周辺の状況
植 物	土地利用 対象部分	有（種類と概ねの本数） 〔 無 〕	現状保全 移植保全 伐採 現状埋立 その他 （ ）	山 林 農 地 宅 地
	現状保全 部分	有（種類と概ねの本数） 〔 無 〕	そのまま保全 移植保全	その他 （ ）
哺 乳 類		有（種類と概ねの頭数） 〔 無 確認できず 〕	捕獲保護 現状放置 その他 （ ）	生息あり 生息なし 不 明
鳥 類		有（種類と概ねの羽数） 〔 無 確認できず 〕	捕獲保護 現状放置 その他 （ ）	生息あり 生息なし 不 明
両 生 類		有（種類と概ねの匹数） 〔 無 確認できず 〕	捕獲保護 現状放置 その他 （ ）	生息あり 生息なし 不 明
ハ虫類		有（種類と概ねの匹数） 〔 無 確認できず 〕	捕獲保護 現状放置 その他（ ）	生息あり 生息なし 不 明

魚 類	有（種類と概ねの匹数） 〔 無 確認できず〕	捕獲保護 現状放置 その他 （ ）	生息あり 生息なし 不 明
昆 虫 類	有（種類と概ねの匹数） 〔 無 確認できず〕	捕獲保護 現状放置 その他（ ）	生息あり 生息なし 不 明
貝 類	有（種類と概ねの個数） 〔 無 確認できず〕	捕獲保護 現状放置 その他 （ ）	生息あり 生息なし 不 明

- ※ 各項目中、別紙による岐阜県の絶滅のおそれがある野生生物等一覧（可児市分）に記載された生息物が、存在もしくは生息する場合は、必ず記入すること。
- ※ 植物のうち、人工林（杉、ヒノキ等）、その他竹林、雑木林については、面積を記入。
- ※ 哺乳類は、事業区域内に巣を持つか、活動範囲とするものを挙げる。
- ※ 鳥類は、事業区域内に巣を持つか、活動範囲とするものを挙げる。
- ※ 鳥類のうち、全国的に生息するすずめ類等は、対象から除くことができる。
- ※ 両生類のうち、全国的に生息している蛙、トカゲ類等は、対象から除くことができる。
- ※ 昆虫類のうち、全国的に生息している甲冑類、蛾、蝶類等は対象から除くことができる。
- ※ 魚類のうち、全国的に生息している鯉、フナ類等は、対象から除くことができる。
- ※ それぞれの項目中、生息数が100を超えるものは、多数とすることができる。

③生活環境に関する事項

項 目	内 容	具体的発生源	事業地及び周辺への具体的対策 (左欄有の場合)
排 水 (水質)	雨 水 排 水	有 放流先 無	調整池の設置あり (放流先の経路： ～ ～ ) 調整池の設置なし
騒音・振動	機 械 等	有 (要因： ) 無	対策あり (具体策記入)  対策なし
電波障害	電 波 障 害	有 (要因： ) 無	対策あり (具体策記入)  対策なし
廃 棄 物	廃棄物の発生	有  無	対策あり (具体策記入)  対策なし

※ それぞれの項目について、対策を図る場合は具体的な方策を記入する。

④景観に関する事項

項 目	内 容	実 施 の 有 無	具体的対策 (左欄有の場合)
緑 化	緑 地	有  無	
緑地保全	伐採の低減	有  無	
反射光	低反射パネル 位置・傾斜等	有  無	

項 目	内 容	実 施 の 有 無	具体的対策（左欄有の場合）
色彩	低彩度	有 無	

※ それぞれの項目について、対策を図る場合は具体的な方策を記入する。

⑤その他

項 目	内 容	実 施 の 有 無	具体的対策（左欄有の場合）